

## 別紙標準様式（第7条関係）

## 会議録

会議の名称	令和7年度第3回雇用推進事業者選定審査会
開催日時	令和8年(2026年)1月19日(月) 午後2時00分から 午後3時40分まで
開催場所	枚方市役所第3分館(旧市民会館)3階 第1会議室
出席者	中原委員(会長)、芦田委員(副会長)、小中原委員、中島委員、 畑中委員
欠席者	—
案件名	(1) 評価結果について (2) 答申について (3) その他
提出された資料等の 名称	資料12 講評(案) 資料13 答申書(案)
決定事項	令和8・9年度における市内企業若者雇用推進事業の最優秀提案者(契 約候補者)に株式会社キャリタス、優秀提案者に株式会社学情を選定す る。
会議の公開、非公開の 別及び非公開の理由	非公開 枚方市情報公開条例第5条第1項第6号に規定する「情報の公開をしない ことができる情報」に該当する内容について審議するため
会議録の公表、非公表 の別及び非公表の理由	本審査会の答申後に公表
傍聴者の数	—
所管部署 (事務局)	観光にぎわい部 商工振興課

## 審議内容

### 【会長】

ただいまより、第3回雇用推進事業者選定審査会を開会します。まず、委員の出席状況及び本日の進め方等について、事務局より説明をお願いします。

### 【事務局】

本日は委員5名全員のご出席をいただいております、2分の1以上の出席となりますので、枚方市附属機関条例第5条第2項の規定により、本審査会が成立していることをご報告させていただきます。

続きまして、次にお手元の資料の確認をさせていただきます。次第のほか、**資料12**講評(案)、**資料13**答申(案)、**参考資料**として前回のプレゼンを受けて皆様にご記入いただきました仮の採点表をもとに事務局で取りまとめた「採点表集計結果」でございます。また、最終の点数をご記入いただく「採点表(本審査)」をご用意しております。この採点表には仮審査での点数をあらかじめ記入しております。書類の過不足等はありませんでしょうか。

委員の皆様方におかれましては、年末年始のお忙しい中、短期間でご評価をいただきまして、ありがとうございました。本日は、皆様から仮審査でいただいた評価について、事務局で取りまとめた「採点表集計結果」をもとに意見交換を行っていただいた後に、お手元の採点表に最終的な点数をご記入いただきまして、事務局にご提出いただきます。その後、事務局にて集計を行いますので、少々お時間をいただきまして、本審査の集計結果がまとまりましたら審査会を再開いただき、最優秀提案者(契約候補者)及び優秀提案者を選定いただきます。また、各申請団体に対する講評についてご審議をいただいた上で、答申をいただく予定としております。

### 【会長】

ただ今の説明に対し、皆さんからご意見、ご質問はありませんか。

<意見等なし>

### 【会長】

それでは、案件に移ります。案件(1)「評価結果について」を議題とします。事務局より説明をお願いします。

### 【事務局】

**参考資料**の採点表集計結果(仮審査結果)をご覧ください。こちらは委員の皆様からいただきました評価点を合算したものでございます。このほかに、ご自身および他の委員の方々の採点結果の確認と本日の意見交換のための参考として、委員ごとに集計を行った採点表と申請団体ごとに集計を行った採点表の2種類と、委員皆様のコメントをまとめた評価コメント表をお手元にお配りしております。意見交換後、それぞれ改めて採点を確定いただき、本審査用の採点表にご記入をお願いいたします。その際、意見交換後での他の委員のご見解も参考に、仮審査の点数からご変更いただくことも可能です。説明は以上です。

**【会長】**

それでは、集計結果を踏まえ、委員の皆様からのご意見をお聞きします。皆様、全体を通じて何かご意見等ありますでしょうか。他の方のコメントや採点を見て、聞いておきたいことなどありましたらお願いします。

**【委員】**

評価は各々で異なりますが、皆さんが評価を付けられた際のポイントをお聞きできますか。

**【委員】**

提案内容において、各団体ともそれぞれ特徴的なコンセプトがありました。その中で、申請団体1は労働者側の視点に寄り過ぎているように思われました。働く側と企業側の視点の両方が合致して上手くいくものだと思いますが、中小企業や製造業側の視点が感じにくいと私には感じられたため、全般的に採点が低くなったところがあります。申請団体2や3は、目標数値をしっかりと打ち出して、見直しをどうしていくかなど一通りの重要な視点が入っており、評価基準として必要なものが網羅されていると感じましたので、相応の高い点数を付けています。申請団体4は、実施例を踏まえての見直しということをおっしゃっていましたが、実際にどう見直していくのかといった辺りが弱く感じられ、点数につながらない部分がありました。各団体が重点を置かれていたそれぞれのキーワードについて、私にとってはどれが受け入れられるかというところでの順位になりました。

**【会長】**

気になったポイントについては私も同様でしたが、申請団体1については、弱いと感じた製造業の魅力発信についてプレゼンテーションの中で質問した際、まずはワークライフバランスを入り口として、そこから製造業の魅力発信へとつなげていきたいということでしたので、その補足説明で不足部分を補えたものとして採点をしました。

**【委員】**

数字や目標は色々ありましたが、実現性について質問した時に不安を感じることもありました。特にITパスポートは、製造業との関連性や必要性があまり見えず、その取得が目的になってしまうのではないかなどの懸念や、最終的に面接や採用に至るのかといった疑問が、プレゼンテーションの質疑の中でも解消しきれませんでした。製造業界がITパスポートを持った人をそこまで必要とするのかという点でも、そこまで必要としないのではと思いました。また、申請団体2・3・4の提案のいずれも、枚方市ならではというものではなく、従来の汎用的なプランをそのまま当てはめたような印象が気になった中で、申請団体1は、多少なりと枚方市という視点から考えてくれているように感じられました。申請団体2の

担当者が枚方市在住の方というのは、良いポイントかと思いましたが。実績や無難さでいくと申請団体4のようにも思いましたが、確実に出来ると見込める範囲以上のことは目指していないようにも感じられた点が気になりました。

**【委員】**

申請団体4は、実績を踏まえてもっと改善点が出てくるようにも思いましたが、そこがあまり提案内容に見受けられませんでした。

**【委員】**

アドバンテージはあると思いますので、たいへんもったいなかったと思います。なお、複数年継続して事業を実施することにより効果が上がる内容になっているかという点についてだけであれば、皆さんいかがでしたでしょうか。

**【会長】**

ほぼ同じでしたが、私は申請団体1が一番高かったです。

**【委員】**

私も申請団体1でした。

**【委員】**

どの団体も全く記載していないわけではないので、どのように見るかがとても難しかったのですが、私は申請団体4が一番低くなりました。アドバンテージはあると思われる分、とてももったいないと思いました。

**【委員】**

せつかくの実績を活かしきれていないように感じられましたね。

**【委員】**

逆に、アドバンテージがあるので、全体的に数字を無難なところに落とし込んでくれそうにも思うのですが。

**【会長】**

私は、全体的な取り組み姿勢や、枚方市のことを具体的に考えた提案に期待を持てるのではと思った点で、申請団体1への配点が高くなりました。

**【委員】**

私も申請団体2について、色々な実績があるのは分かるものの、枚方市の事業として落と

し込めているかという点は気になったポイントでした。また、学生には強いのかもかもしれませんが、一般の方に対するアプローチの仕方はどうなのかという懸念もありました。その点、申請団体1は、せっかく来てくれた参加者を目的以外の企業にもどう繋げていくかということ、よく考えているように思いました。こういう機会ですから会社は色々なところが出展して下さると思いますが、そこへどう繋げていくかという工夫が申請団体1には感じられ、申請団体2は、枚方という特性をどこまで把握して事業内容に落とし込めているかというところに疑問が残りました。また、求職者の減少については私達も最近とても感じているところですが、申請団体4は、実績に基づいた視点から、複数年度の特性として大きく数字を見込めるものでもないということも理解しておられる分、その上で、目標やポイントをどこに設定するのかというのがなかなか難しかったのではと思います。申請団体3のITパスポートについては、他には無い特色ですので、上手く活用できれば良い提案だと思いましたし、活かし方次第かと思いました。

**【会長】**

それぞれ書いておられる実績については、何をやったかということも大事ですが、採用率がどうであったか等の結果まで書いていただけると良かったと思います。

**【委員】**

提案内容によっては、大阪市内や東京等の大きい地域では上手くいくかもしれないけれども、この枚方で実施する場合にはどう工夫するのが見えにくく思いました。

**【委員】**

学生向けの集客は強いと思われるものの、35歳までとなると学生以外にもボリュームゾーンとして対象に含んできますので、その集客について不安を感じたものもありました。

**【委員】**

就職数として数に上がってくるのはそのゾーンの人達ですから、長期的な視点でやるというのが大切なのですが、転職サイトをお持ちだったりすると、社会人を対象とした実績の根拠として見えやすく思いました。

**【委員】**

申請団体1と4はおそらくそうしたサイトを持っているので、その点は強いように思いました。他にも、申請団体4は大学の就職センターでの事業を請け負っていると思うのですが、その中で、この事業のことも伝えたりしてくれているのではと思いますので、もっとそういう部分もアピールに加えていただければ良かったのではと思います。枚方市のために何とかしようと色々努力をしてくれているものの、現実も見えているために、あの提案の数字になったというところもあるとは思いますが。その上で、アドバンテージに対してもう少しチャ

レンジをしてもらいたかったというところがあります。

【会長】

皆様、それぞれご意見はある程度出ましたでしょうか。そろそろ本審査に移ってよろしいでしょうか。

<異議なし>

【会長】

それでは、これから本審査に移りたいと思います。事務局から説明をお願いいたします。

【事務局】

それでは、この後、委員の皆様にはお手元の採点表に、最終的に確定した点数をご記入いただきます。点数の変更がない申請団体については、採点表の下段にあります、点数の変更がない場合のチェックボックスの「□」にチェックを入れていただくだけでけっこうです。点数に変更がある団体については、変更のない項目も含めて全ての項目に最終の点数をご記入ください。なお、価格点については、提案金額に基づいて事務局で算出した点数になりますので、変更はできませんのでご了承ください。説明は以上です。

【会長】

ただいまの事務局の説明について、何かご質問はありませんか。

<質問等なし>

【会長】

それでは、採点表(本審査)に点数の記入をお願いいたします。

<各委員採点・採点表を回収>

【事務局】

それでは、これより集計に入らせていただきますので、少々お時間を頂戴したいと思います。

<事務局集計>

【会長】

それでは、本審査の集計結果について確認をしていきたいと思っております。事務局より説明をお願いします。

【事務局】

それでは、採点表の集計結果をご報告させていただきます。ただ今お配りいたしました採

点表集計結果(本審査結果)の下段の合計欄をご覧ください。申請団体1が361点、申請団体2が321点、申請団体3が317点、申請団体4が336.5点となっております。

**【会長】**

事務局から報告のとおり、本審査会として、最高点の株式会社キャリタスを令和8年度および令和9年度の市内企業若者雇用推進事業最優秀提案者(契約候補者)に、次点の株式会社学情を優秀提案者として選定することにご異議ございませんか。

<各委員了承>

**【会長】**

ありがとうございます。それでは、次に講評案について確認してきたいと思います。事務局から説明をお願いいたします。

**【事務局】**

それでは、講評(案)を読み上げさせていただきますので、**資料12**講評(案)をご覧ください。

<資料12読み上げ>

**【会長】**

ありがとうございます。それでは、次に講評案について確認してきたいと思います。事務局から説明をお願いいたします。

**【事務局】**

次に**資料11**「講評(案)」をご覧ください。こちらは、委員の皆様にご記入いただきました評価コメントを事務局にて取りまとめた、審査会としての講評(案)でございます。

<資料11読み上げ>

**【会長】**

講評(案)については、皆さんからの評価コメントを事務局にてまとめたものです。こちらに関してご意見等がありましたらお願いします。

**【委員】**

文章の一部表現と構成について、伝わりやすくなるように少し修正した方がいいように思う箇所が何点かありました。

**【委員】**

なお、各団体には講評を返すのでしょうか。

**【事務局】**

選定結果をお送りする際に、自団体に関する講評については併せてお送りいたします。すべての講評については、申請団体1というような形で具体的な団体名を伏せた上で、後日、市ホームページに掲載いたします。

<修正箇所および内容の確認>

**【会長】**

それでは、ただ今の修正点については、確認したとおりに事務局の方で修正作業をお願いします。

**【会長】**

それでは事務局案で了承されたかと思しますので、講評案につきましては、事務局案といたします。続きまして、案件(2)答申について、事務局より説明をお願いします。

**【事務局】**

それでは、委員の皆様には資料13「答申書(案)」をご覧ください。当選定審査会における合議の結果について、枚方市長への答申書の(案)として事務局にて作成させていただきましたのでご確認ください。

<答申書(案)読み上げ>

**【会長】**

ただ今の内容について、委員の皆様から何かご意見、ご質問等がありますか。

<意見・質問なし>

**【会長】**

特にご意見等が無いようでしたら、この答申書の内容で決定としたいと思います。

<異議なし>

**【事務局】**

それでは後程こちらの答申書の内容で、この後、中原会長にご署名をいただきたいと存じます。

**【会長】**

続きまして、案件(3)その他について、事務局より説明をお願いします。

**【事務局】**

その他としまして、会議録の公開についてですが、第1回審査会でご決定いただきましたとおり、答申をいただくまで非公開としてきましたが、本日、答申をいただきましたので、この後、速やかに作成に取り組み、委員の皆様にご確認いただいたのち、各資料とあわせて、公開に向けた手続きを進めてまいります。なお、公開の際、発言者名については会長、委員という形で記載いたします。説明は以上になります。

**【会長】**

ただ今の説明に対し、ご意見、ご質問等はありませんか。

<意見等なし>

**【会長】**

それでは、案件についてはすべて終了しましたので、議事進行を事務局にお返しします。

**【事務局】**

それでは、本審査会の閉会にあたりまして、事務局を代表して観光にぎわい部長よりご挨拶申し上げます。

委員の皆様におかれましては、公私多忙の中、3回に渡る本審査会にご出席いただきありがとうございます。また、その間、丁寧なご議論・ご支援をいただきましたこと、心より御礼申し上げます。厳しい雇用状況の中ですが、こうした若者と市内企業のマッチングについて、ミスマッチをなくし、就職後の早期離職の無いように我々も努めていきたいと考えており、そのためにも、このような事業者の選定というのは大事な取組みであると認識しております。答申いただいた事業者には、次年度しっかりと取組みをしていただくということになりますので、3回に渡る審査会の中で色々ご指摘いただいたことを踏まえまして、我々もまた、事業者としっかりと連携を取って推進をしていきたいと思っております。委員の皆様には、今後とも本事業の推進にあたり、引き続きご協力を賜りますようお願いを申し上げます。簡単ではございますが、閉会のご挨拶とさせていただきます。ありがとうございます。

それでは、以上をもちまして、第3回雇用推進事業者選定審査会を終了いたします。これまで、本審査会の運営にご協力を賜りまして厚くお礼申し上げます。誠にありがとうございました。

以上